

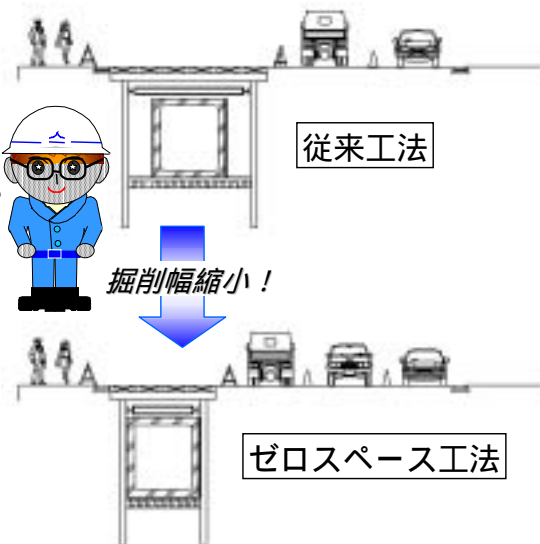
ゼロスペース工法 掘削幅縮小技術

開削洞道、マンホールなどの地中構造物は、コンクリートを打設するための外型枠を設置し、打設後撤去するための作業スペースとして余掘りを80cm～95cmとって施工していましたが、このたびこの余掘りを“ゼロ”に近くする工法を開発・実用化しました。

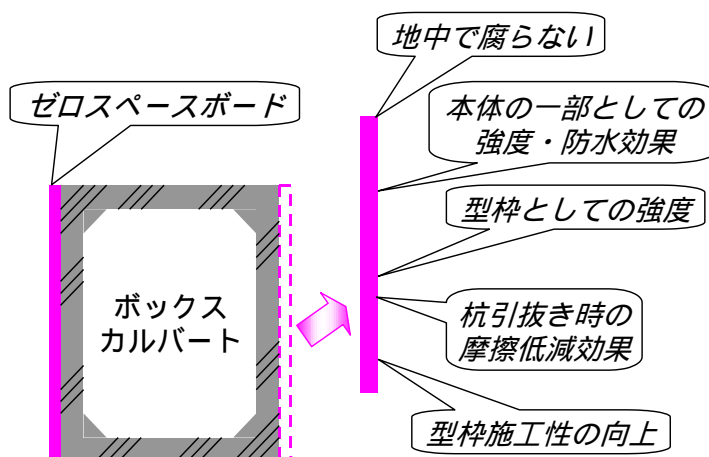
ゼロスペース工法の特徴

○ 外型枠の組立方法の工夫と耐腐食性とフリクションカット機能に優れたゼロスペースボードを使用することで次のような優れた特徴があります。

1. 掘削範囲が縮減できる
 - ・ コストダウン（掘削量、残土処理量、埋戻し土量、舗装復旧面積30%減）
 - ・ 残土、アスコンガラなど廃棄物が少なく環境保全効果が大い。
 - ・ 工事期間が短縮でき道路上工事の縮減効果が大い。
2. 作業スペースを小さくできる
 - ・ 工事渋滞の緩和ができる。
 - ・ 道路交通の安全性が向上する。
3. 作業工程を簡略化できる
 - ・ 外枠撤去作業が無くなる。



ゼロスペースボードの機能



お客様に選んでいただける会社をめざして

本工法に関するお問い合わせ・連絡先

電力本部 工務部 03-4431-3823 Fax03-4431-3893

〒108-8533 東京都港区芝浦 4-8-33

E-mail: iguchi-m01@kandenko.co.jp